

川登早生（かわのぼりわせ）

登録番号：第9923号

来歴：「松本早生富」の変異樹

登録年月日：平成14年3月15日

育成地：愛媛県喜多郡内子町

登録者：岡博 森崎一男

育成者：岡博 岡佐喜子 森崎一男

森崎由美子

特性

■栽培特性

樹姿はやや開張性で、樹勢はやや弱い。発育枝の長さはやや短く、節間長は短い。枝梢の太さは中位で、色は赤褐である。

果形はやや扁円で、果実の大きさは大である。果皮は黄橙色で、育成地（愛媛県喜多郡内子町）では10月7～10日頃から収穫でき、25日頃に終了する完全甘柿である。

■果実特性

果実の形はやや扁円で、縦断面の形は扁円であり、果頂部の形は平である。果頂裂果性は無く、ヘタスキは少である。果実重は210～230g程度で「松本早生富有」と比較して、腰高で大玉傾向である。また、果皮はやや厚く、色は黄橙であり、種子数は少なく、単為結果性が強い。裂果性や汚損果の発生は見られない。

収穫始めは、育成地において「松本早生富有」に比べ5～7日程度早い。この時期の糖度は14%程度と比較的高く、果肉は密で果汁も多く、渋みは無い。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

炭疽病にやや弱い。定期的な防除や夏秋梢管理が重要である。また、苗木時にカキノマダラメイガやヒメコスカシバ等の樹幹害虫に食入されやすい。苗木等育成期の捕殺や殺虫剤の塗布、成木時においても定期的な粗皮削りが必要である。

■地域適応性

現在のところJA愛媛たいき管内で栽培されており、良好な特性を発揮していることから、カキ栽培地帯に広く適応するものと考えられる。

（菊池 明）